

第二十回和辻哲郎文化賞 一般部門 受賞作

岩下 尚史 著『芸者論 神々に扮することを忘れた日本人』

(2006年10月20日 雄山閣 刊)

岩下 尚史 いわた ひさふみ 昭和36年(1961)生まれ。熊本県出身。作家。國學院大学文学部卒業。新橋演舞場株式会社に入社、制作に携わり、企画室長として、社史『新橋と演舞場の七十年』を編纂。同社を退職後、和辻哲郎文化賞受賞作『芸者論・神々に扮することを忘れた日本人』を刊行。著作は、『名妓の資格・細書新柳夜咄』、『見出された恋―「金閣寺」への船出』がある。

受賞のこぼ

賞に掲げられます大哲の尊名と、過去に受賞された碩学の皆様に対し、学の外なる数寄者に過ぎぬ身は先ず慄き、しかも初作へは異例の賜物と承り、驚くよりも恐れ謹みて御受けを申し上げました。姫路市の皆様にご心より御礼を申し上げます。

消え行く歌妓の行方を儂み、その変遷を辿ることを思い立ちながら、浅学の悲しさは資料の収集や扱いを心得ず、聞き齧りの折口学を我流でもどきつゝも、宴に臨んで客と精霊の役を演じることで自己を練ることを習いとした、昨日までの日本人の面影を映すには未だ遠く、権威ある賞の前に、非才を恥じ申すばかりであります。

この上は御選考及び御推薦下さいました先生方の御期待に聊かなりとも応えられます様、好笑的な営みのなかに微かに残る過去の文化の一端を、学外の一隅から、日々の体験を通して書き留めて参る所存でございます。

《選考委員評》

梅原 猛

今回の和辻賞において、私は『芸者論 神々に扮することを忘れた日本人』を第一に推した。最初はこの題名にいささか抵抗を覚えたが、読んでいくうちに、これは一種の警世の書であると思った。

折口信夫の孫弟子にあたると思われる著者は、芸者論を、神に仕える遊び女論から始める。一般の人は、芸妓を酌婦と同じように考えているが、それはまったく違う。著者は、吉原における芸者の成立によって真の江戸文化が始まったと考えているようである。

芸者はもともと男性であった。男性芸者はやがて幫間として卑しめられるようになるが、最初は自己の芸で身を立てる立派な芸人であった。吉原芸者が女性になり、この吉原芸者に対して深川芸者が生まれる。さらに明治以後、新橋芸者、柳橋芸者が世を風靡する。新橋芸者と柳橋芸者がどう違うのか、私はその違いがまったく分からなかったが、著者は彼らの誇りや芸の違いをはっきり示している。

この書における著者自身の誇りもまた高く、幸田露伴や永井荷風を実に遠慮なく批判する。そして芸者道というべきものを説いた明治の大隠者、成島柳北を称える。私は柳北の書を読んだことがないが、この著を読んで、柳北の書を読みたいと思った。

文章も簡潔ではあるが、不思議な味がある。若さが光るところもあるが、花柳界に遊び疲れた通人の筆のようなところがある。このように若くして老成した文章という感を強く受けたのは高橋和巳の書いたもの以来であるが、著者の前途に期待したい。

山折 哲雄

これは芸者と遊びたわむれ、遊蕩のかぎりをつくした人の芸談ではない。芸者という存在にまつわる江戸の吉原遊郭、新橋物語などが、じつはわが国古代の色好みの美意識に発し、源氏物語の大和ごころとも響き合う宴の世界に通じているとする、洞察と新発見にみちみちた芸能論である。

かつて白拍子というアソビメたちがいた。やがて神に扮した客がそこに通い、銚子盃がもちだされて神婚の固めがおこなわれる。それを芝居の舞台に投影したのが「かぶき」であり、色好みとあわれの風儀のなかに再現したのが江戸の「吉原」であった。

そんな花柳界とは、そもそも男が遊びに行くというよりは、戦いに行くところだった。そこは男を鍛える戦場であり、女に磨きをかける舞台だったのだが、それが徳川三百年の時代の波に洗われて神婚秘儀の装置であった吉原は衰退の道をたどる。ついに維新以後は、かつてあれほど崇めていた遊女を娼妓と呼びかえ卑賤視するまでになった。

議論の根底に柳田国男、折口信夫の説がすえられ、とくに折口の芸能論が光彩を放ってうけつがれている。史料の探索は委曲をつくし、ゆったりした歯切れのいい文章には、本書のテーマにもふさわしい香りがただよっている。ときに成島柳北の芸者観をとりあげて高く評価し、返す刀で幸田露伴の発言にはみるべきものがなく、色好みの世界をまったく理解していないと断じて刺激にとむ見解をくりだす。

そのほか、吉原文化の盛衰はもとより、明治以降の新橋芸者の勃興のプロセスを活写しているところも鮮やかだ。昭和時代に入ってからフジヤマ・ゲイシャ論など、近代日本の替り目を機に、色好みとあわれの大和ごころがいかにも無惨な運命をたどったか、その変容の歴史を客観的に浮き彫りにしてもいる。私は、和辻哲郎の『日本芸術史研究』に展開された数々のテーマを想いおこしつつ、本書を楽しく読了したのである。